

11月 童心会 保育所 保健だより



朝夕の冷え込みが厳しくなってきました。インフルエンザやノロウイルスなど、冬に多い感染症が流行る季節でもあります。予防接種をしたからと安心せずに手洗い・うがいを徹底し、規則正しい生活を送るように心がけ、感染症を予防していきましょう。

インフルエンザかも?と思ったら...

検査のタイミングは、発熱後から 12 時間以降です。(6 時間程度で可としている機関もあり) 受診まで水分を取りながら、目を離さず、安静にして過ごしましょう。

但し、水分が取れない・痙攣をおこした・いつもと様子が違う時などは、すぐに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザと診断を受けた時は、園までご連絡をお願いします

登園時には、保護者記入の「インフルエンザ経過報告書」の提出が必要です。

※牛久は「登園届」です。



インフルエンザは、発症し 5 日を過ぎかつ、熱が下がってから 3 日を過ぎるまでは欠席します。



冬の衣服のご準備は...?

セーター・裏起毛・フリースなど厚みがあり、保温性の高い衣類は、動きを制限し、汗をかきやすく、汗の吸収性が少ないので、秋冬でも汗疹の原因になることもあります。

園内用には、暑すぎず、動きやすく、汗を吸いやすい素材の衣類をご準備下さい。
保温性の高い衣類は通園時にプラスして着るなどして、寒暖差に備えてご活用ください。

つるつるすべすべのキープが、アレルギー発症予防につながります!!

保湿剤・軟膏のめり方



朝夕 1 日 2 回が基本。
洗顔・入浴直後の潤いがある間に塗布。毎日全身の保湿を続け、乾燥によるかゆみを防ぎます。

軟膏は大人の両手の平の面積を塗るのに大人の人差指関節一節分が必要です
(医師の指示があればそれに従って使用しましょう)

***11月12日は「いい皮膚の日」です!**



感染性胃腸炎は11月～流行期です。

※ ノロ・ロタウイルスによる胃腸炎が流行する季節になります。
嘔吐した場合、園では感染予防のため汚れた衣服などは洗わずに密封してお返ししています。
ご家庭での消毒方法についてご紹介させていただきます。ご理解とご協力お願い致します。
～吐物・汚染衣服からも感染しやすいので、家庭内感染にもご注意ください～

- ① 手袋とマスクをつける。（使い捨てのレインコートなど着るとなおよい）
- ② 換気しながら、袋を開封する
- ③ 消毒する



※ **85℃の熱湯に1分間** 又は **塩素系漂白剤に10分間つける**（色落ち注意です）

例：ハイター・キッチンハイターなら水3ℓに10ml

- ④ 水で消毒液を流し、洗濯する
- ⑤ 手袋・マスク・ガウンはポリ袋に密封して捨て、しっかり30秒石鹸で手洗いする



※自宅で嘔吐や下痢をした場合 ⇒ 吐物や便がついた場所の消毒は、換気をしながらか水500mlにハイターをペットボトルキャップ2杯10mlで、ボロ布やペーパーで拭き掃除します。（金属部分は腐食するので注意）後で水拭きしましょう。

【 アタッチメント（子どもの安全基地）より大切なもの 】 ～ サーブ アンド リターン （serve&return やりとり・受けこたえ） ～

今年の6月に第66回全国私立保育研究大会栃木大会が開かれました。

その大会の宣言文の中で「つながろう！みんなが輝く未来へ～だいじだいじありのままで～」をテーマにしていました。こども基本法は根幹である子どもの権利を尊重することは「大丈夫、あなたはあなたのままでいいんだよ」というメッセージにつながり人が人を育てる、人と人とが育ちあうというつながりを大切にしたいと宣言していました。こうした人間関係を作るために、私たちの世界では今でもボルビーという心理学者の唱えたアタッチメント（愛着形成）という言葉大切にしています。

その言葉が日本では「ひっつき症候群、社会的な絆の形成、心の安全基地」などと変化しながら伝えられてきましたが、私は“人と心の紡ぎあい”と表現しています。

そしてさらに私たちは「ヒトの成り立ち期の歩みのはじめ」を大切にしていくことはserve&return(人と人とのやりとり・受けこたえ)であると教えてきました。

新生児の時代から自分の感情（喜怒哀楽）泣き笑いに応えてくれる養育者たちの存在は、子どもたち一人ひとりの存在（在る、有る、生る）を認めあえる大切な人間を創ることに成るからです。

それを私たちはserve&returnであると確信してきました。

だから私たちの問いには「生れてきてくれてありがとう！あなたの子に生れてきて良かった！」という言葉が飛び交っているのです。皆さま どうぞお幸せに！



理事長 中山 勲